



# 令和5年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年2月10日

上場会社名 ニチモウ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8091 URL <http://www.nichimo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 和明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼財務部長 (氏名) 小島 章伸

TEL 03-3458-4550

四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和5年3月期第3四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第3四半期	101,342	11.0	2,947	10.2	3,293	7.8	2,314	10.1
4年3月期第3四半期	91,296	0.2	3,280	44.3	3,572	37.9	2,575	49.8

(注) 包括利益 5年3月期第3四半期 3,139百万円 (12.5%) 4年3月期第3四半期 2,790百万円 (72.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第3四半期	664.72	641.30
4年3月期第3四半期	752.42	732.08

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第3四半期	92,748	23,232	25.0
4年3月期	74,863	20,066	26.6

(参考) 自己資本 5年3月期第3四半期 23,205百万円 4年3月期 19,928百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期		40.00		60.00	100.00
5年3月期		70.00			
5年3月期(予想)				70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	8.3	2,900	9.4	3,400	5.9	2,400	12.9	689.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期3Q	4,025,000 株	4年3月期	3,787,400 株
期末自己株式数	5年3月期3Q	337,679 株	4年3月期	370,511 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期3Q	3,481,764 株	4年3月期3Q	3,422,581 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化や各種政策の効果もみられ、景気は緩やかに持ち直しがみられました。一方、ウクライナ情勢の長期化に加え、世界的なエネルギー、食糧価格の高騰や金融引き締めによる世界経済の減速も意識され、国内においても急激な物価上昇、供給面の制約や金融資本市場の変動等含めた下振れリスクに注視が必要となっています。

このような経済環境のなか、当社グループの事業基盤であります水産、水産加工・流通、食品の各分野におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ侵攻の対ロシア制裁によるエネルギー価格の高騰、国内外における水産物需供の変化や為替を含めた原材料価格の急激な変動で、厳しい環境下にありました。

このような情勢のもとで、当社グループは、3ヵ年経営計画「第137期中期経営計画（Toward the next stage）」の初年度として、経営方針「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」をベースに、未来へ「繋ぐ」、事業を「繋ぐ」、人を「繋ぐ」の3つの「繋ぐ」を意識した経営で新たな価値を創造し、企業価値の向上を図ってまいりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は1,013億42百万円（前年同期比100億45百万円の増加）、営業利益は29億47百万円（前年同期比3億33百万円の減少）、経常利益は32億93百万円（前年同期比2億79百万円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23億14百万円（前年同期比2億60百万円の減少）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### <食品事業>

食品事業におきまして、すり身は国内すり身生産が減少しましたが海外からの買付は順調に推移し、価格が上昇したことで増収となりましたが、経費の増加があったことで減益となりました。カニは前年の急激な相場上昇の反動とロシアのウクライナ侵攻による米国の禁輸で相場が下落したことにより、減収、減益となりました。北方凍魚は新型コロナウイルスの影響による物流の混乱もありましたが、国内向けの販売は原料、加工品共に順調だったことや海外向けは円安の影響で増収、増益となりました。助子は原料価格が高騰し、新型コロナウイルスによる中国の加工場の稼働低下や物流の混乱で量販店向けの製品販売は減少いたしました。観光業の回復により土産物向けの販売が増加したことで増収、増益となりました。加工食品部門では、養殖銀ザケや寿司種の販売が順調に推移したことで、増収、増益となりました。

これらの結果、売上高は692億87百万円（前年同期比99億13百万円の増加）、セグメント利益は24億34百万円（前年同期比13百万円の減少）となりました。

#### <海洋事業>

漁網・漁具資材部門では、依然として北海道沿岸における漁獲不振の影響や新型コロナウイルスによる沿岸漁業への影響もありますが、前期の反動増もあり官庁船向け資材や旋網漁具等が堅調に推移し、中国向けまき網資材輸出も円安により伸長いたしました。船舶・機械部門では、船舶用機器類の販売、船用品の販売が堅調に推移したことで、増収、増益となりました。養殖部門では、魚価が堅調なことから種苗や養殖用資材の販売が順調に推移し、飼料の販売は原料価格の値上げがありましたが、製品価格の大幅な値上げを控えたことで需要が増加となり、成魚の販売も新型コロナウイルスの影響から回復してきたことで増収、増益となりました。

これらの結果、売上高は151億6百万円（前年同期比10億18百万円の増加）、セグメント利益は5億17百万円（前年同期比1億62百万円の増加）となりました。

#### <機械事業>

機械事業におきまして、国内の新工場向け案件もあり中華製品向け機械の受注が好調に推移したことや、輸出におきましては海外への入出国制限が緩和されたことにより、豆腐業界向け、総菜調理品向けを中心に据付、検収は順調に進みましたが、前年ほどの大型案件がなく減収、減益となりました。

これらの結果、売上高は80億55百万円（前年同期比10億34百万円の減少）、セグメント利益は5億99百万円（前年同期比3億28百万円の減少）となりました。

#### <資材事業>

資材事業におきまして、化成品部門では包装資材について価格高騰の影響を受けましたが、主力の建材用シートなどは早期に手当てしたことや受注も順調に推移し、増収、増益となりました。農畜資材においては、肥料価格の高騰の影響はありましたが、コフナ・肥料の販売も堅調に推移したことから、増収、増益となりました。これらの結果、売上高は66億73百万円（前年同期比1億29百万円の増加）、セグメント利益は3億56百万円（前年同期比6百万円の増加）となりました。

#### <バイオティックス事業>

バイオティックス事業では、医師向け、通販は堅調に推移しましたが、大手健康食品メーカー向けの素材「アグリマックス」および薬局向けOEM商品の販売が苦戦し、売上高は2億45百万円（前年同期比22百万円の減少）、セグメント利益は17百万円（前年同期比28百万円の減少）となりました。

#### <物流事業>

物流事業では、菓子類の出荷が低迷する中、売上高は前年並みを維持しましたが、一方、利益につきましては、燃料高騰や車両に係る経費負担増があり、売上高は18億93百万円（前年同期比35百万円の増加）、セグメント損失は55百万円（前年同期は10百万円のセグメント利益）となりました。

#### <その他>

その他といたしましては、不動産の賃貸、人材派遣業を行っており、売上高は80百万円（前年同期比6百万円の増加）、セグメント利益は38百万円（前年同期比16百万円の減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資 産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は927億48百万円（前連結会計年度比23.9%増）となりました。

総資産の増加は、主として売上債権、棚卸資産の増加によるものであります。

#### (負 債)

当第3四半期連結会計期間末における総負債は695億15百万円（前連結会計年度比26.9%増）となりました。

総負債の増加は、主として仕入債務、短期借入金と社債及び長期借入金の増加によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は232億32百万円（前連結会計年度比15.8%増）となりました。

純資産の増加は、主として資本金、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年5月13日に公表いたしました、通期連結業績予想を修正いたしました。なお、当該業績予想の修正の詳細につきましては本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,153	9,757
受取手形及び売掛金	18,534	28,232
商品及び製品	22,257	24,793
仕掛品	1,031	1,195
原材料及び貯蔵品	3,218	3,930
前渡金	709	1,225
その他	1,170	702
貸倒引当金	△57	△80
流動資産合計	53,017	69,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,126	9,923
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,276	△6,493
建物及び構築物（純額）	2,850	3,429
機械装置及び運搬具	8,380	8,727
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,034	△6,195
機械装置及び運搬具（純額）	2,345	2,532
工具、器具及び備品	994	1,030
減価償却累計額及び減損損失累計額	△777	△833
工具、器具及び備品（純額）	216	196
土地	2,848	2,943
建設仮勘定	1,013	519
有形固定資産合計	9,275	9,621
無形固定資産		
のれん	21	-
その他	703	795
無形固定資産合計	725	795
投資その他の資産		
投資有価証券	11,008	11,663
長期貸付金	42	40
破産更生債権等	975	915
長期預金	77	-
繰延税金資産	221	237
その他	458	520
貸倒引当金	△993	△932
投資その他の資産合計	11,790	12,444
固定資産合計	21,790	22,861
繰延資産		
社債発行費	55	128
繰延資産合計	55	128
資産合計	74,863	92,748

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,378	18,100
短期借入金	21,437	27,517
1年内償還予定の社債	2,348	576
1年内返済予定の長期借入金	870	1,091
未払法人税等	828	367
賞与引当金	501	203
その他	3,302	4,078
流動負債合計	42,665	51,935
固定負債		
社債	3,052	6,150
長期借入金	6,954	8,980
長期未払金	18	-
繰延税金負債	703	849
役員退職慰労引当金	179	181
役員株式給付引当金	-	180
退職給付に係る負債	696	645
その他	528	592
固定負債合計	12,132	17,580
負債合計	54,797	69,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,411	4,969
利益剰余金	14,307	16,129
自己株式	△1,005	△916
株主資本合計	17,713	20,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268	2,507
繰延ヘッジ損益	49	△40
為替換算調整勘定	7	649
退職給付に係る調整累計額	△111	△94
その他の包括利益累計額合計	2,214	3,022
新株予約権	130	4
非支配株主持分	7	21
純資産合計	20,066	23,232
負債純資産合計	74,863	92,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	91,296	101,342
売上原価	82,041	92,088
売上総利益	9,255	9,254
販売費及び一般管理費	5,974	6,307
営業利益	3,280	2,947
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	183	176
持分法による投資利益	357	394
為替差益	-	9
その他	116	131
営業外収益合計	660	716
営業外費用		
支払利息	235	294
為替差損	0	-
その他	132	75
営業外費用合計	368	370
経常利益	3,572	3,293
特別利益		
固定資産売却益	26	6
投資有価証券売却益	-	98
補助金収入	8	298
新株予約権戻入益	-	130
特別利益合計	34	534
特別損失		
固定資産除却損	-	7
固定資産圧縮損	8	298
投資有価証券売却損	1	-
ゴルフ会員権評価損	-	1
役員株式給付引当金繰入額	-	258
特別損失合計	10	566
税金等調整前四半期純利益	3,597	3,261
法人税、住民税及び事業税	957	879
法人税等調整額	56	51
法人税等合計	1,014	930
四半期純利益	2,583	2,330
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,575	2,314

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	2,583	2,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	244
繰延ヘッジ損益	△15	△90
為替換算調整勘定	200	642
退職給付に係る調整額	17	16
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△5
その他の包括利益合計	206	808
四半期包括利益	2,790	3,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,782	3,122
非支配株主に係る四半期包括利益	8	16

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、第1回新株予約権の一部権利行使により、資本金が558百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,969百万円となっております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

役員向け株式交付信託

当社は、令和4年6月24日開催の第136回定時株主総会に基づき、当社の取締役（下記のとおり、監査等委員である取締役および社外取締役を除く。）に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しております。

## (1) 取引の概要

当社は取締役を対象とする株式交付規程に基づき、当社の取締役に対してポイントを付与し、退任時に当該付与ポイントに相当する当社株式を交付する仕組みであります。

## (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間末233百万円、89,900株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 令和3年4月1日 至 令和3年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオ テイクス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	59,374	14,087	9,090	6,544	267	1,857	91,222	74	91,296
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	165	633	41	270	1	26	1,137	20	1,158
計	59,539	14,721	9,132	6,814	269	1,883	92,360	95	92,455
セグメント利益	2,448	355	928	350	45	10	4,137	55	4,192

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,137
「その他」の区分の利益	55
全社費用(注)	△912
四半期連結損益計算書の営業利益	3,280

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	食品事業	海洋事業	機械事業	資材事業	バイオテ イクス 事業	物流事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	69,287	15,106	8,055	6,673	245	1,893	101,261	80	101,342
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	318	736	43	362	1	25	1,488	16	1,505
計	69,606	15,843	8,099	7,035	247	1,918	102,750	97	102,848
セグメント利益 又は損失(△)	2,434	517	599	356	17	△55	3,870	38	3,909

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に不動産賃貸業を営んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,870
「その他」の区分の利益	38
全社費用(注)	△961
四半期連結損益計算書の営業利益	2,947

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(行使価額修正条項付新株予約権の行使による増資)

令和5年1月1日から1月31日までに、第1回新株予約権の一部権利行使が行われました。当該新株予約権の権利行使の概要は次のとおりです。

(1) 発行した株式の種類及び株式数	普通株式72,300株
(2) 行使新株予約権個数	723個
(3) 行使価額総額	188百万円
(4) 増加した資本金の額	188百万円